

平成30年度 事業報告

<概要>

平成30年度事業計画に基づき、非常通信訓練、非常通信体制の総点検、非常通信に関する周知・啓発活動などの事業を行い、非常災害時における通信体制の確立の推進に努めてきました。

また、各事業については、関係各位のご協力のもと、概ね計画どおりに実施することができました。

非常災害時において迅速かつ有効に機能する通信体制を確立するため、当協議会の事業を充実していくことが必要です。

1 非常通信訓練等の実施

災害想定の下で実践的な訓練を行うことにより、平常時使用している通信手段が使用できない状況下における大規模災害等を踏まえた非常通信ルートの検証を行うと同時に、関係機関との連携を図り、訓練参加者の非常通信に関する認識の向上を図ることを目的として、次のとおり全国訓練を実施するとともに、地方訓練を実施しました。

なお、地方自治体等が主催する防災訓練への協力については、災害通信連絡訓練兼Lアラート全国総合訓練を実施しています。

(1) 第81回全国非常通信訓練（中央非常通信協議会の事業計画に基づく訓練）

➤ 実施日時

平成30年11月29日(木) 13時30分～

➤ 参加機関（地方通信ルート関係：20機関）

北海道（本庁、後志総合振興局）、小樽市、島牧村、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

➤ 災害想定

後志総合振興局管内の積丹半島北東部を震源とする震度6強の地震が発生。

➤ 訓練の実施結果

19ルート中19ルートについては、参加自治体から道庁までの開始から終了までに最大で2時間20分を要する結果であった。（参考：前年度は空知振興局管内24ルートで実施、最大で3時間11分を要した。）これは、後志総合振興局での災害報告FAX設備が1台しかないことから、受信に遅延が生じたためである。毎年、振興局のFAX受信環境が通信の輻輳など遅延を生ずる要因となっており、伝達方法について北海道と検討する必要がある。

訓練は、取りまとめに時間を要することを想定しており、概ね計画どおり実施することができた。

訓練実施結果の詳細は、「令和元年度定期総会 資料編」に掲載。

(2) 平成30年度北海道地方非常通信訓練（地方非常通信協議会の事業計画に基づく訓練）

➤ 実施計画日時

平成30年12月13日(木) 13時30分～

➤ 参加機関（9機関）

北海道（本庁、釧路総合振興局）、釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町

➤ 災害想定

択捉島沖の千島海溝を震源とした大規模地震が発生し、釧路総合振興局管内では震度6強を観測した。管内全域では、住宅崩壊や土砂災害が発生し、さらに沿岸部においては3m以上の大津波を観測し住民が避難を開始した。

➤ 訓練の実施結果

地域衛星通信ネットワーク（LASCOM ネット）及び衛星携帯電話を使用しての訓練であったため、特に遅延等の障害は発生しておらず、概ね計画どおり、非常通信訓練を実施することができた。

構成員からは、抜き打ちでの通信訓練を希望する意見もあることから、今後訓練を計画する際の検討課題とすることとしたい。

また、衛星系の通信機器が非常時に有効な通信手段のひとつであると認められることから、所有していない構成員に対し衛星携帯電話設置について検討するよう啓発を進めていく必要がある。

(3) 平成30年度 災害通信連絡訓練（地震・津波）兼Lアラート全国総合訓練

➤ 実施日時

平成30年5月24日(木)09時00分～

➤ 訓練主催

北海道防災会議

➤ 訓練実施機関

北海道防災会議構成機関、市町村

※北海道地方非常通信協機会は協力機関として要請を受けました。

➤ 訓練対応

北海道防災会議が実施する津波警報・注意報、地震情報及び気象情報の伝達訓練にあわせて、非常通信ルートの使用の可否等の確認手順について、Lアラートを含めた図上訓練として、事務局で訓練を実施しました。

➤ 訓練の実施結果

訓練は概ね計画どおり実施することができた。

2 非常通信体制の総点検の実施

非常災害時における通信・放送の確保のため、無線局等の運用体制、設備等について十分に対処できる体制を整えることを目的として、次のとおり総点検を実施しました。

なお、無線設備の不具合については、電源装置関係又は空中線系統のものが目立つとともに、使用が長期間に及んでいるものの中には予備部品の供給が困難となっているものが存在している。

実施期間

平成30年9月1日から12月31日まで（報告期限：平成31年1月15日まで）

なお、この期間以外で、別途点検を実施している場合は、その結果を報告する。

➤ 点検対象及び点検項目

- ・ 原則として、構成員所属の全無線局。
- ・ 点検項目は、中央非常通信協議会で策定した「総点検項目（標準項目）」とし、点検事項としては、無線設備、空中線、電源設備、管理体制など。

➤ 対象機関

全構成員（無線局を設置していない構成員は、非常時の連絡体制等を任意で点検。）

➤ 総点検の実施結果

報告書の提出：206機関／311機関（平成31年1月）。

なお、実施結果の詳細は、「令和元年度 定期総会 資料編」に掲載。

3 継続的な非常通信協議会の活動強化

中央非常通信協議会から、非常通信協議会活動の見直しの継続（中央非常通信協議会

平成 25 年度事業計画)に係る依頼があり、平成 30 年度においても次の作業を取り組みました。

(1) 非常通信ルートの見直し

実施結果：ルートの見直し有りは 8 機関（中央 1 ルート、地方 7 ルート）ありました。
（道市町村 1 7 4 機関を対象）。

(2) 非常通信対応マニュアルの作成

実施結果：新規作成及び変更は 1 3 機関ありました。（作成済み市町村は 1 0 5 機関）

4 非常通信に関する周知・啓発活動

防災意識の向上と災害対策に役立てることを目的に、次のとおり災害時の情報伝達等に関する講演会、セミナーを開催しました。

また、協議会の各種活動や非常通信に係る情報等について、電子メール及び専用ホームページ等を活用し、構成員等への周知・情報提供を行いました。

(1) 災害時の情報伝達等に関するセミナー等の開催

① 北海道地方非常通信協議会定期総会記念講演会

- ・ 日 時：平成 30 年 6 月 18 日（月） 15 時 00 分～16 時 20 分
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 講 演：「情報通信分野における防災・減災に関する取組みについて」
総務省情報通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課重要無線室
前島 健太
- ・ 参 加：100 名

② 非常通信セミナー2019

- ・ 日 時：平成 31 年 3 月 20 日（月） 13 時 30 分～16 時 40 分
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
「北海道胆振東部地震及びブラックアウトによる被災状況及び対応において」
- ・ 報告 1 放送サービス
 - ① 概要報告
 - ・ 北海道総合通信局 情報通信部 放送課長 和田 孝行
 - ② 個別事例
 - ・ 株式会社 S T V ラジオ 技術部長 長坂 清治 氏
 - ・ 北海道テレビ放送株式会社 技術部長 小島 伸彦 氏
 - ・ 株式会社テレビ北海道 技術部長 高橋 康二 氏
 - ・ 三角山放送局(株式会社らむれす(札幌市)) 代表取締役社長 杉澤 洋輝 氏
 - ・ e-n i w a (株式会社あいコミ(恵庭市)) 編成プロデューサー 三浦 真吾 氏
- ・ 報告 2 通信サービス
 - ① 概要報告
 - ・ 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長 能登部 康生
 - ② 個別事例
 - ・ 株式会社 N T T ドコモ 北海道支社
ネットワーク部 災害対策室長 渡辺 利男 氏
 - ・ ソフトバンク株式会社 エリアネットワーク本部
北海道ネットワーク技術部長 安東 秀典 氏
- ・ 報告 3 北海道総合通信局における対応等
 - ・ 北海道総合通信局 防災対策推進室長 臼田 昇
- ・ 防災行政無線に関する緊急点検について
 - ・ 北海道総合通信局 無線通信部 陸上課長 伊辺 泰義

- ・ まとめ
 - ・ 北海道総合通信局 無線通信部長 佐藤 善昭
- ・ 参 加：164 名

③ 防災関係通信機器の展示

ア 定期総会、記念講演会に併せて実施

- ・ 日 時：平成 30 年 6 月 18 日（月） 13 時 30 分～16 時 20 分
（定期総会及び記念講演会の時間帯を除く。）
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 展示協力：北海道総合通信局

イ 非常通信セミナー2019 に併せて実施

- ・ 日 時：平成 31 年 3 月 20 日（月） 13 時 30 分～16 時 40 分
（講演の時間帯を除く。）
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 展示協力：一般財団法人移動無線センター、株式会社 N T T ドコモ北海道支社、
K D D I 株式会社、ソフトバンク株式会社、
株式会社ネクステック、北海道総合通信局

(2) 電子メール及び専用ホームページ等による情報提供

① 電子メール等による情報提供（依頼を含む。）

- ・ H30. 4. 26 北海道地方非常通信協議会の幹事会の開催について
- ・ H30. 5. 23 北海道地方非常通信協議会の定期総会及び記念講演会の開催案内
- ・ H30. 7. 3 大雨に伴う災害にかかる通信の確保と被害状況等について
- ・ H30. 8. 1 「非常通信協議会活動の見直し」の継続について（非常通信ルートの見直し等）
- ・ H30. 8. 24 台風 20 号等による大雨に伴う災害にかかる通信の確保と被害状況等について
- ・ H30. 10. 5 台風 25 号等による大雨に伴う災害にかかる通信の確保と被害状況等について
- ・ H30. 11. 12 平成 30 年度「非常通信体制総点検」の実施について
- ・ H30. 11. 12 第 81 回全国非常通信訓練の実施について
- ・ H30. 11. 22 平成 30 年度北海道地方非常通信訓練の実施について
- ・ H30. 12. 10 降積雪期における防災態勢の強化等について
- ・ H30. 12. 28 暴風雪と高波及び大雪に伴う災害にかかる通信の確保と被害状況等について
- ・ H31. 1. 31 暴風雪と高波等による大雨に伴う災害にかかる通信の確保と被害状況等について
- ・ H31. 2. 4 非常通信セミナー2019 の開催について

② 専用ホームページによる情報提供

- <http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/do-hijyokyo/new/new.htm>
- ・ H30. 6. 4 平成 30 年度定期総会・記念講演会の開催について
 - ・ H30. 6. 18 平成 30 年度定期総会（記念講演会・機器展示）を開催
 - ・ H30. 11. 26 北海道地方非常通信訓練及び第 81 回全国非常通信訓練
 - ・ H31. 3. 4 「非常通信セミナー2019」の開催について

5 北海道地方非常通信協議会への加入促進

機会をとらえて、非常通信に関する機関、団体に対して勧誘を行いました。加入するまでに至りませんでした。

なお、平成 30 年度末現在の構成員数は、311 機関です。

6 会議の開催

◆ 幹事会を次のとおり開催しました。

また、議題は、すべて承認されました。

- ・ 日 時：平成 30 年 5 月 18 日(金) 10 時 00 分～
- ・ 会 場：北海道総合通信局 第 1 会議室
- ・ 議 題：＊ 平成 30 年度定期総会の議案について
＊ 北海道地方非常通信協議会定期総会記念講演会の開催について

◆ 総会を次のとおり開催しました。

また、議題は、すべて承認されました。

- ・ 日 時：平成 30 年 6 月 18 日(月) 14 時 00 分～
- ・ 会 場：ホテルポールスター札幌
- ・ 議 題：＊ 平成 29 年度事業報告
＊ 平成 30 年度事業計画(案)
＊ 平成 30 年度役員等(案)

◆ 非常通信要請会議は、会議を招集する案件がなく、開催していません。

7 功績者の表彰

(1) 地方表彰

個人及び団体とも「被表彰候補者推薦書」の提出がなかったため、平成 30 年 6 月 18 日(月)に開催した、平成 30 年度定期総会において功績者の地方表彰は行っていません。

(2) 中央表彰

平成 30 年 3 月 14 日(水)に開催した、中央非常通信協議会第 67 回総会の会場において表彰を行いました。

① 団体表彰

余市町 様

② 功績の概要

余市町は、策定している通信ルートが使用不能となった場合を想定した全国初となる非常通信ルートとしての漁業無線システムを利用した非常通信訓練に参画し、漁業無線を活用した非常通信ルートの実効性の確認を行い、その有効性や諸問題を明らかにすることで、今後の活用の可能性など、多種多様な通信ルートの確保に寄与するなど、非常通信協議会の運営に貢献した。

③ 団体表彰

余市郡漁業協同組合 様

④ 功績の概要

余市郡漁業協同組合は、策定している通信ルートが使用不能となった場合を想定した全国初となる非常通信ルートとしての漁業無線システムを利用した非常通信訓練に参画し、漁業無線を活用した非常通信ルートの実効性の確認を行い、その有効性や諸問題を明らかにすることで、今後の活用の可能性など、多種多様な通信ルートの確保に寄与するなど、非常通信協議会の運営に貢献した。

8 非常通信必携（北海道地方版）の更新

30 年度は改訂版の発行は行っておりません。

以 上